

まさかヒットラーと同じように、他国への侵略がこの現代におこることを、誰が予想したであろうか。いや今のロシアの指導者であればか。多くの人が犠牲に  
1月12日のゼミは、M.サンデル『実力も運のうち 能力主義は正義か?』第7章「労働を承認する」を竹内さんの報告で行いました。能力主義からの選別へは絶望死という現実が提示され、対応策は労働の尊厳の回復である。1970年までは学位がなくても中流として快適に暮らせたが、グローバルゼーションは男性白人に何もたらさず、製造業の雇用を減らした。能力主義の選別が政治的反発をあとトリャンプ投票へ。労働の世界が人の尊厳、労働の尊厳を蝕んだ。人間が根本的に必要とするのは、生活を共にする人々から必要とされることであり、自分の能力を発揮する労働の尊厳は、仲間意識を共有することであるが、グローバル競争では能力主義は敗者にとっては侮辱的である。金融化は労働の尊厳には有害であり、意欲を奪うかもしれない。経済に対する金融の割合が激増し実体経済への投資は縮小し、金融商品は経済に害を与える。投機抑制と生産的労働賞賛により、労働の尊厳承認による経済立て直しをサンデルは提示する。多くを受け取るのは投機活動に携わる金融業界であり、実体経済に貢献しない莫大な利益に対して、誰がつくって誰が受け取るのかは貢献的正義の議論である。労働の尊厳を回復するには道徳的問いへの取り組み、労働を承認し評価することである。討論では、アメリカは草の根民主主義であり、能力・実力を共通善とするが、基盤は労働である。共和主義時代の生産者は小農民である。労働の評価は金銭・生活保障に関連し、学歴による死亡率の格差がラストベルトにある。出席は、小野さん、川口さん、松村さん、斎藤さん、竹内さん、山口さんと高田の7名でした。

- \* 3月9日ゼミからのテキスト：芦田文夫『「資本」に対抗する民主主義－市場経済の制御と「アソシエーション」』本の泉社,2021-10、です。
- \* 3月23日ゼミは、MLで提案の「第4週ゼミの今後について：意見交換会」を予定しています。ご意見・ご提案をお願いします。
- \* コロナ禍が続き、3回ゼミを中止しました。3月9日ゼミは皆様からの意見・出席を募り開催します。3月23日のゼミ開催、今後のゼミについては、再びご意見を伺うことがありますので、よろしくお願いします。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

- 3月9日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
芦田文夫『「資本」に対抗する民主主義』1章 マルクス・・・ 報告・高田
- 3月23日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
「第4週ゼミの今後について：意見交換会」
- 4月13日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋  
芦田文夫『「資本」に対抗する民主主義』2章 レーニン 報告者未定  
その後 4/27, 5/11, 5/25, 6/8, 6/22, 7/13, 7/27 : アイクルの部屋